

World Sailing Racing Rules Question and Answer Service

Q&A 2025.001

24 March 2025

付則 T が適用される場合のフィニッシュラインにおける規則違反

状況 1

付則 T が適用されている。艇がコース側からフィニッシュラインを横切り、フィニッシュマークに接触して規則 31 に違反し、その後離れていく。

質問

規則 T1 に定義される「レース後ペナルティー」は、その違反に対する適用可能なペナルティーか？

回答

はい、ただし、違反が発生した時点で艇がその違反に気づいていなかった場合に限る。

状況 2

付則 T が適用されている。艇がコース側からフィニッシュラインを横切り、フィニッシュマークに触れて規則 31 を違反し、直ちに 1 回のターン（1 回のタックと 1 回のジャイブを含む）を行い、帆走を続ける。

質問 1

規則 44.2 の 2 つ目の文「艇はフィニッシュ・ラインまたはその近くでペナルティを履行する場合、フィニッシュする前にその艇の艇体が完全にフィニッシュ・ラインのコースサイドになければならない」は、定義「フィニッシュ (a)」で言及される規則 44.2 に基づくペナルティの履行の一部か？

回答 1 いいえ

質問 2

艇はフィニッシュしたか？

回答 2 いいえ

艇はコースサイドからフィニッシュラインを横切り、その後規則 44.2 に従ってペナルティを履行したため、その横切りはフィニッシュとはみなされない。定義「フィニッシュ」を参照。

質問 3

レース委員会は、審問を開催せずに艇に DNF を付与できるか？

回答 3 はい。

規則 63.1 および A5 を参照。

質問 4

規則 T1 に定義される「レース後ペナルティ」は、その違反に対して適用可能なペナルティーか？

回答 4 いいえ。

艇は規則 31 の違反に対して適切なペナルティを履行したが、規則 28.1 および 44.2 の残りの要件を満たしていない。これらの違反は規則 T1 の適用範囲外である。

状況 3

付則 T が適用されている。艇はコースサイドからフィニッシュラインを横切り、フィニッシュマークに接触して規則 31 に違反し、完全にコース側へ航行し、再びフィニッシュラインを横切った。

質問 1

艇はいつフィニッシュしたか？

回答 1

艇は初めてフィニッシュラインを横切った時点でフィニッシュした。

質問 2

規則 T1 に定義されているレース後ペナルティは、その違反に対して適用されるペナルティーか？

回答 2

はい。ただし、違反が発生した時点でその違反に気づいていなかった場合に限る。しかし、2 度目のフィニッシュライン通過は、違反に気づいていた可能性を示唆している。

Q&As reflect the opinion of experienced race officials, they are not authoritative interpretations of the rules.

Q&As only address the specific question and not all of the factors a protest committee will need to consider in a hearing.

World Sailing Racing Rules Question and Answer Service

Q&A 2025.002

24 March 2025

規則 44.1(b)における「明らかに有利」の解釈

状況

シリーズ戦ではない個人戦で、ポートのA艇がスターボードのB艇と交錯しようとしている。この2艇は20艇のフリートの中で5位と6位に位置している。艇Bは艇Aを避けるために回避行動を取らなければならない、その間に転覆する。艇Aは可能な限り早く2回転のペナルティを履行し、12位まで順位を下げたが、艇を立て直した後、15位まで順位を下げた艇Bよりまだ先にいる。どちらの艇にも損傷や傷害はない。

質問

インシデントの後、A艇はB艇に先行し、レースで大きな有利を得たか？

回答 いいえ

RRS44.1(b)は、艇が「レースまたはシリーズにおいて明らかに有利となった」場合のみ適用される（強調）。この場合、艇 A はインシデント前の 5 位からインシデント後に 12 位に順位を下げたので、レースで有利を得ていない。また、レースは 1 回しかないなので、A 艇はシリーズでも優位に立っていない。

複数のレースが行われた場合、ある艇は個々のレースでは有利を得られなかったにもかかわらず、シリーズでは有利を得る可能性がある。その場合、艇のシリーズ得点に対する順位変動の影響を考慮する必要がある。

この回答は、付則MRまたは付則UFの下で判定されないフリートレースに限定されることに注意すること。これらの付則には、「ペナルティを受けたにもかかわらず有利を得た」場合、その有利が重要なものである必要も、「レースまたはシリーズにおいて」特別なものである必要もなく、アンパイアがペナルティを開始することを認めるさらなる規定が含まれている（それぞれMR4.1(c)とUF3.4(a)(3)）。

Q&As reflect the opinion of experienced race officials, they are not authoritative interpretations of the rules.

Q&As only address the specific question and not all of the factors a protest committee will need to consider in a hearing.

World Sailing Racing Rules Question and Answer Service

Q&A 2025.003

24 March 2025

Tangles in kites

カイトの絡まり

状況

付則Fに基づくカイトボードレガッタにおいて、3人のカイトボードP、SL、SWがクローズホールで帆走していた。ポートタックのPはスターボードタックのSLとSWとコンバージング・コースをとっていた。SLはSWの風下にいた。PはSLを避けきれず、SLはSLとの接触を避けるためにラフしてタックを変えたが、その際にSLはSWに絡まった。

その結果、SWの成績は著しく悪化した。

SLはすぐにリタイアした。Pはリタイアせず、その後のインシデントで怪我をしてからリタイアした。PもSLもリタイアしたため、SWは抗議しなかった。

質問1

誰が絡まりを引き起こしたのか：Pなのか、SLなのか、両方なのか、それとも誰もいないのか？

回答 1

Pはポートタックのカイトボードで避けていなかったため、SLとSWの絡まりを引き起こした。

質問2

PやSLは規則に違反したのか、そしてもし違反したのなら適切なペナルティを履行したか？

回答 2

Pは規則10に違反した。Pはレースをリタイアしたため、規則F4.44.1(b)に従って該当するペナルティを履行した。

SLはSWを避けていなかったことで規則10に違反したが、Pが規則10を違反したことでそうせざるを得なかったため、規則43.1(a)により免責される。

質問3

PまたはSLがその後のレースで絡まりを起こした場合、規則F5.60.5(e)の適用上、この絡まりは1回目か2回目か？

回答3

PとSLの両方にとって、有効な抗議の審問がなかった場合、これが最初のものとなるであろう。

質問4

規則F5.60.5 (e)を適用するために、PCはあらゆる絡まり（抗議が無効だとしても）を追跡しなければならないのか、それとも抗議から生じたものだけを追跡しなければならないのか。

回答4

プロテスト委員会は、有効な審問なしに「カイトボードが規則に違反し、その結果、絡まりを引き起こした」と決定することはできない。

質問5

先の質問に対する答えが、どのようなもつれでも追跡や監視を行うべきだというのであれば、それはどのように行うべきか？

回答5

該当なし。

Q&As reflect the opinion of experienced race officials, they are not authoritative interpretations of the rules.
Q&As only address the specific question and not all of the factors a protest committee will need to consider in a hearing.

World Sailing Racing Rules Question and Answer Service

Q&A 2025.004

24 March 2025

個別リコール信号

状況1

準備信号はP旗。スタートの合図の時、1艇がスタートラインの延長線上のコース側にいた。

他の艇はOCSではなかった。

質問1

レース委員会は、正しくスタートした先行艇に誤解を与える可能性を考慮し、音響1声とともにX旗を掲揚すべきか？

回答1 いいえ。

艇はスタートラインの延長線上のコース側にあり、RRS29.1で規定されているスタートラインのコース側ではなかった。

質問2

質問1の答えが「いいえ」の場合、レース委員会がそのようなことをすれば不適切な行為となるか？

回答2

はい。

状況2

準備信号はP旗。スタートの合図の時、スタートラインのコース側に1艇、スタートラインから1分離れたところに1艇、他の艇はOCSではなかった。

質問3

レース委員会は、正しくスタートした先行艇に誤解を与える可能性を考慮し、音響1声とともにX旗を掲揚すべきか？

回答3

はい。

RRS29.1にはこうある：「艇のスタート信号時に、船体の一部がスタートラインのコースサイドにある場合、または艇が規則30.1に従わなければならない場合、レース委員会は速やかに音響1声と共にX旗を掲揚しなければならない。

質問3

もしレース委員会がX旗を掲揚せず、その艇を**OCS**とした場合、その艇は救済を受ける権利があるのか？

回答3

いいえ。

レース委員が不手際を行った結果、艇の成績は著しく悪化したが、艇は自身が**OCS**であること、規則**28.1**および該当する場合は**30.1**を遵守しなければならないことを認識していた。もし艇がスタートしなかった場合、艇の得点はレース委員会の不作為ではなく、艇自身の過失によって著しく悪化したことになる。ケース**31**を参照。

Q&As reflect the opinion of experienced race officials, they are not authoritative interpretations of the rules.

Q&As only address the specific question and not all of the factors a protest committee will need to consider in a hearing.

World Sailing Racing Rules Question and Answer Service

Q&A 2025.005

24 March 2025

インターナショナル・ジュリーの判決に対する上告の可能性

状況

インターナショナルジュリーは付録Nに基づき適切に構成されているが、レース公示にも帆走指示書にも何も記載されていない。

質問

規則J1.3(8)およびJ2.1(1)が要求する上告する権利の否認について、レース公示にも帆走指示書にも何も記載されていない場合、そのインターナショナル・ジュリーが下した判決は上告が可能か？

回答

いいえ。

規則J1.3(8)およびJ2.1(1)は、規則70.3を参照し、レース公示または帆走指示書に上告が否認されるという情報を含めることを求めている。

規則 70.3 では、70.3(b)、(c)、(d)はレース公示または帆走指示書に明記されている場合のみ適用される。ただし、規則70.3(a)は、付属規則Nに基づき適切に構成されたインターナショナル・ジュリーの決定には常に適用される。

Q&As reflect the opinion of experienced race officials, they are not authoritative interpretations of the rules.

Q&As only address the specific question and not all of the factors a protest committee will need to consider in a hearing.

World Sailing Racing Rules Question and Answer Service

Q&A 2025.006

24 March 2025

スタート信号前の中止もしくは延期

状況

レース委員会は、準備信号の後、スタート信号の前に、レースのスタート手順の停止を決定する。レースは再度開始される。

質問1

レース委員会は**N**旗を使うことができるか？

回答 1

はい、規則**27.3**は、レース委員会がスタートの合図前にレースを中止することを認めている。

質問2

質問**1**の答えが「はい」で、**AP**または**N**のどちらかを使用できる場合、レース委員会はどちらを表示するかをどのように決定すべきか？

回答 2

規則 **27.3** ではどちらの旗を使用してもよいが、他のフリートが同じレースエリアでレースを行う際の混乱を避けるため、**AP** を使用することを推奨する。

Q&As reflect the opinion of experienced race officials, they are not authoritative interpretations of the rules.
Q&As only address the specific question and not all of the factors a protest committee will need to consider in a hearing.

World Sailing Racing Rules Question and Answer Service

Q&A 2025.007

24 March 2025

ルーム・トゥ・タックの声掛け

状況 1

艇はスターボードタックのクローズホールドで、岸や川の堤防などの障害物に近づいている。艇Aはタックして艇Bを避けるためのスペースが必要である。艇BはAの必要性を理解し、規則20.2(b)と(c)に従って応答する。艇Bは規則 20.1 に違反したとして 艇Aを抗議する。

質問1

プロテスト委員会はこの抗議をどのように判断すべきか？

回答 1

抗議は却下されるべきである。規則20.1は、艇が'Room to tack'という言葉を使って声掛けすることを要求している。規則20が適用されるためには、'Room to tack'という言葉を含む声掛けが行われる必要がある。艇Aは'Room to tack'という言葉を含まない声掛けをしたので、'Room to tack'の声掛けは行われず、規則20は適用されない。規則 20.2(b)と(c)は適用されないので、艇B の反応は関係ない。艇 A は規則 20.1 に違反しなかった。さらに、このインシデントでは第 2 章の他のいかなる規則も違反していない。

状況 2

状況1と同じ。ただし、艇Bは艇Aの必要性を理解しているが、Aの声掛けに反応しない。艇Aは障害物に触れないように風上にラフし、スピードを落とす。艇Bは声掛けの後しばらくしてタックし、艇Aもタックしてレースで艇Bの後ろにいる。両者の間に接触はない。艇Aは艇Bが声掛けに反応しなかったとして抗議する。

質問 2

プロテスト委員会はこの抗議をどのように判断すべきか？

回答2

抗議は却下されるべきである。規則20.1では、艇は「Room to tack」という言葉を使って声掛けをしなければならない。A艇は'Room to tack'という言葉を含まない声掛けをしたので、'Room to tack'の声掛けは行われていない。規則 20.2(b)と(c)は適用されず、B艇は答える必要はない。さらに、このインシデントでは第2章の他の規則には違反していない。

Q&As reflect the opinion of experienced race officials, they are not authoritative interpretations of the rules.

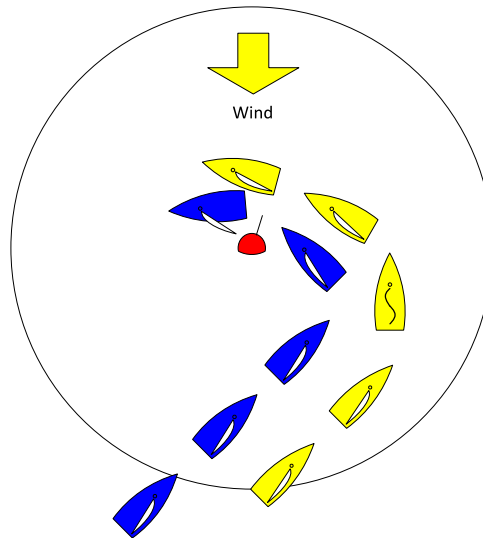
Q&As only address the specific question and not all of the factors a protest committee will need to consider in a hearing.

World Sailing Racing Rules Question and Answer Service

Q&A 2025.008

24 March 2025

ゾーン内でのタッキング



状況

ポートに見て通過する風上マークで、イエローはゾーン内で風位を越え、スターボードタックでマークをフェッチしている。ブルーはその時、イエローの風下オーバーラップにタック。ブルーはそれからベアしていく。両者の間に直ちに接触があり、損傷や傷害はなかった。この接触をインシデントと認定する抗議があった。

質問1

この状況でどのような規則が適用されたのか？

回答1

イエローが風位を超えるまで、規則12と18.2(a)(2)。

イエローが風位を超えクローズホールドコースになるまで規則13。

ブルーがポートにいる間、規則10が適用される。ブルーが風位を超えクローズ・ホールドのコースになるまでは、規則13を適用する。

ブルーが風位を超えた瞬間から、18.3の最初の文では18.2は適用されないと記載されている。したがって適用されるのは第2章AおよびBの規則のみである。

質問2

プロテスト委員会はこの抗議をどのように判決すべきか？

回答2

もしこの図がプロテスト委員会によって承認され、即時の接触があったと事実が認定されれば、イエローは **5** 番の位置でキープ・クリアを怠っていたことになる。この場合、ブルーがコースを変える前にイエローはキープ・クリアしていなかったため、ブルーは規則 **16.1** に違反していない。

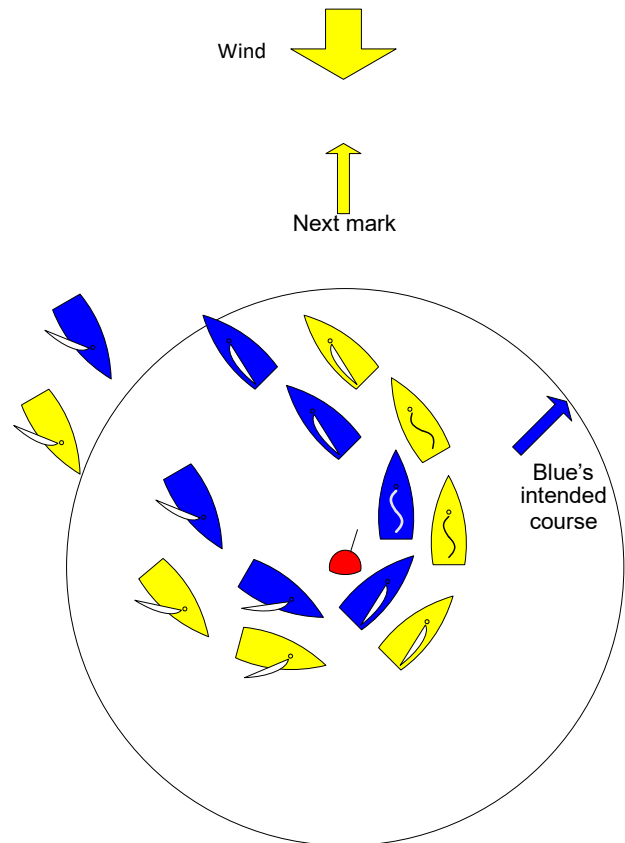
Q&As reflect the opinion of experienced race officials, they are not authoritative interpretations of the rules.
Q&As only address the specific question and not all of the factors a protest committee will need to consider in a hearing.

World Sailing Racing Rules Question and Answer Service

Q&A 2025.009

24 March 2025

マーク・ルームの定義



状況

最初の艇が風下マークに到達した時、ブルーはイエローの風上で内側にオーバーラップしていた。ブルーはポートタックでマークを離れるつもりだったが、イエローはスターボードタックでマークを離れるつもりだった。回航中、イエローは風位に向けラフをした。ブルーはシーマンらしく対応できた。ブルーは風位を超え、スターボードタックでマークを離れた。イエローも同じようにした。ブルーはマーク・ルームを与えなかったとしてイエローに抗議した。

質問

プロテスト委員会はこの抗議をどのように判決すべきか？

回答

ルールに違反していないのだから、抗議は却下されるべきだ。

イエローは、規則 **18.2(a)(1)**に基づき、ブルーにマーク・ルームを与えることが要求され、ブルーに以下を行うためのルームを与えたので、イエローはマーク・ルームを与えた。

- (a) マークへ帆走した（ブルーのプロパーコースはマークへ向かい近づくことであった）、
- (b) 求められた側でマークを回航した。
- (c) マークを後方にして離れた。

加えて、イエローはコース変更時にブルーに風位までラフするためのルームを与え、規則16.1に従った。

ブルーは、規則11で義務づけられている通り、イエローを避けていた。

Q&As reflect the opinion of experienced race officials, they are not authoritative interpretations of the rules.

Q&As only address the specific question and not all of the factors a protest committee will need to consider in a hearing.